

I 自主性 C 創造性 C 協同性

よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創る【学習指導要領の趣旨】

【育成したい資質・能力】 自ら探究する力 ← 『つなぐ力』と『伝える力』

- ・地域の自然、文化遺産、産業等を守り生かし、将来、持続可能な地域にしていくことができる。
- ・ICTを駆使して、広く全国的、世界的な視野をもって、つなぐことができる。
- ・学ばせた事を相手に分かりやすく自己表現したり、発信したりすることができる。

【地域の願い】

- ・自己肯定感、自信をつけてほしい

【生徒の願い】

- ・自分から自信をもって
- ・自主性をつけたい

【教員の願い】

- ・課題に気付く力、行動力
- ・自分なりの考えの表出

【教科・学力向上】

- 主体的・対話的で深い学び
 - 1時間の生徒対話時間50%以上
- 個別最適な学び、協働的な学び
 - 追究方法を選択できる複線化
 - ※ICT、図書、資料等の環境整備

↓

- 指導と評価の一体化
 - 様々な学び、ICTを踏まえた観点評価

【特別支援】

- 個別の指導計画、支援計画
 - 本人と保護者の同意のもと
 - 就労と進路を踏まえた計画
- 効果的な通級指導教室の活用
- 早期からの小学校との連携

↓

- 自立した生活習慣の構築
- 就労を見据えた指導の充実

【領域・地域連携】

- 体育大会、文化発表会
- 郷土教育
 - 地域の文化遺産
 - 産官学連携に推進体制
- キャリア教育
 - 『なりたい自分』
 - ・プロセスを大切に
 - ・トラブルを乗り越え
 - 職場体験学習

学校教育の基盤

【生徒指導・教育相談】

- 『居場所とは』
 - ・どの生徒も夢や願いをもって取り組めること。
 - ・一人ひとりの権利が守られ、保障されていること。
- 『多様性と個性の理解』
 - ・生徒一人ひとりの価値観が違い、力量も違うことを理解し、認め合える集団、学級、学校であること。
- 『不登校生徒の居場所と学習保障』として、関係機関との連携の充実
- 『いのちの教育』がすべての学校教育活動の基盤にあることの指導・支援

→

492通りの生き方ができる学校
(492の花が咲く学校)